

9月号の天気コラム

秋分の日と彼岸

二十四節季の秋分です。この日からしだいに昼よりも夜の長さが長くなります。秋分の三日前が「彼岸の入り」、三日後が「彼岸の明け」です。秋分の日を中心とした1週間を「秋彼岸」といい、祖先を供養する習慣があります。お墓参りへお出かけの方、西日本はまだ夏の気配が残りますが、秋分の日を境に東日本や北日本は秋めいてきます。 *『季節と暮らす365日(日本気象協会編、アリス館)』より

会報閲覧室(玉造連盟事務所)

『にしよど』2017年9月号・No.584 西淀川勤労者山岳会/22頁

毎月、各会から会報や府県連盟ニュースが連盟事務所に届けられています。この会報・ニュースは、いつでも閲覧できるように連盟事務所(玉造)の会報閲覧コーナーに置いています。いつでも是非ご覧ください。

今回は1966年労山加盟、伝統のある西淀川労山の機関誌を紹介しましょう。先日受け取った機関紙は何と「584号」、コツコツ機関紙発行をされて単純計算でも49年も続けて来られたこととなります。機関誌は毎号平均20頁、表紙はカラー、9月号はスイス・マッターホルンをバックに4名の会員が掲載されています。7月の山行では2パーティのスイスアルプスの報告がされています。毎月の例会ハイキングに、第3火曜ハイクがあるのもユニーク、電車・バスを使ってゆっくり歩くのも楽しそうです。6月は余呉湖一周、7月は信貴山・高安山の山行報告でした。

10月、この一冊を 『新編 単独行』(加藤文太郎、ヤマケイ文庫)

先月、新田次郎の『孤高の人』を読み返し更にもう一步、加藤文太郎が知りたくて『新編単独行』を読んでみました。この本には新田氏による孤高の人・加藤文太郎像と違った、また別の心の温かい、素朴な加藤文太郎に出会えて驚きました。『孤高の人』はあくまで新田氏の独自のストーリーを織り交ぜながらタイトル通りの孤独な一面が強く押し出されている向きがあります。本書では加藤氏の素朴な文章に、山行で感じたことやその足取りを淡々と綴っています。大半が単独行でしたが山でいろいろな人と出会い、時には一緒に登山をしたり宿泊させていただいているのです。山中で寂しい時、人の気配がする時は「ヤッホー」とよく声を出している姿は何とも愛おしいですね。是非読んでほしいページは、「初めて錯覚を経験した時のこと(1931.1)」で冬山で体験したことや気付いたことをこまめにメモしています。「厳冬の薬師岳から烏帽子岳へ(1931.12-1932.1)」や身近な山域で「神戸付近の三角点(1928.1)」、「冬の氷ノ山と鉢伏山(1928.3)」も楽しく単独行から新しい山の発見も知ることができます。

◇編集後記◇

『大阪労山ニュース』の発行（印刷）は、基本的に連盟理事会の行われる第4木曜日と同じ週の月曜日です。その月曜日の午後4時30分頃、機関誌部の入澤さんをお待ちして機関紙の印刷が始まります。印刷時間は約1時間30分、そのあと約4、5名の機関紙部員が集まって製本作業を行います。時々、救助隊委員会や自然保護部会が行われるときは、早めに来られた方に手伝っていただき早い時間に機関紙が完成することも。機関誌完成後は大半の有志で玉造駅前の居酒屋・丹波屋で楽しい集いが待っています。この1か月の連盟行事や機関紙を振り返るのも有意義ですね。

ところでこの夏（といっても9月上旬）、青春18切符を使って2つの旅をしました。青春18切符JRは5回分一冊のセット販売なので、格安ですが意外と使い方が難しいのです。5回分11,850円、1回あたり2,370円で丸1日利用できます。

1回目の旅は青春18切符で紀伊半島を一周しました（単独行）。9月1日～2日、途中下車の尾鷲辺りでプラス熊野古道伊勢路（三木里～八鬼山～尾鷲）を歩いてみることにしました。JR紀勢本線、関西本線乗り継いで2日間のJR通常料金は9,510円、青春18切符代は4,740円と約5,000円近くもお得でした。もちろん各駅停車でのんびり走り、缶ビールと文庫本を片手に時々車窓も楽しめる旅でした。2回目は9月8日、友人2名と日帰りで岡山県高梁に行ってきました。初めての高梁はとても静かな美しい城下町です。人気の小松山の山頂（430m）にある備中松山城も山歩きをしながら「難攻不落の名城」の面影を感じることができます。また、格式高い武家屋敷の街並みを歩くのも武士の聲が聞こえてくるようでした。この高梁への旅は、JR通常料金往復8,000円が2,370円と得した分で豪華な昼食も。次回の青春18切符の旅は12月、もう一つの日本3大山城・今村城（岐阜県）です。（大西）



9.1 大曾根浦駅の普通列車



9.8 備中松山城の二重櫓

今月も各会より会報を送っていただきました。安治川山の会ニュース（安治川山の会）、やまなかま（泉州労山）、きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぽんぽん山（高槻）、奈良県連ニュース滋賀県連ニュース、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、HCかざぐるま、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）、明昭（西宮明昭山の会）

編集・発行 入澤、大西秀、笠井、園、高橋、中井、中尾、服部、大西清
